

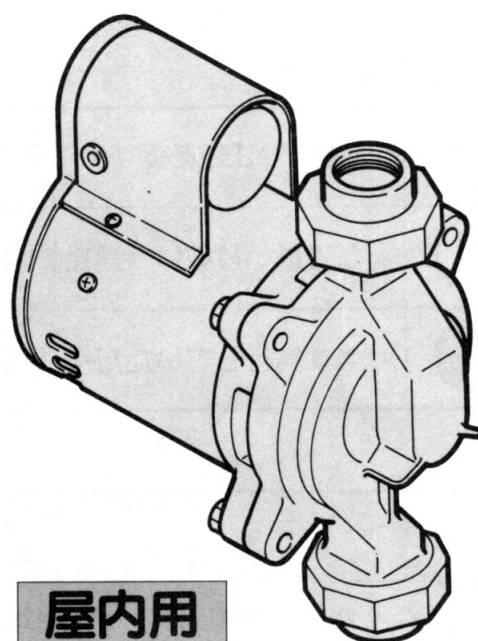
## 日立温水循環ポンプ

### H-PB40S形、H-PB80S形

### H-P150S形、H-P250S形

このたびは日立温水循環ポンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。



屋内用

### もくじ

#### 取り扱いについて

	ページ
●安全上のご注意 .....	2
●各部の名称 .....	4
●使用上のご注意 .....	6
●故障かな…と思ったら .....	6
●仕様 .....	6
●保証とアフターサービス .....	7

#### 据付工事について(販売店様・工事店様用)

	ページ
●据え付け前の確認 .....	8
●据え付け時のご注意 .....	8
●配管工事について .....	9
●配線工事について .....	10
●運転について .....	11
●防寒について .....	11



- 据え付けは専門工事が必要ですから、販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- ご購入のポンプの形名確認は、本体にはり付けの銘板の表示をご覧ください。

# 安全上のご注意




ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ■ここに示した注記事項は

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

## 絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

## 警告



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない。  
 ●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



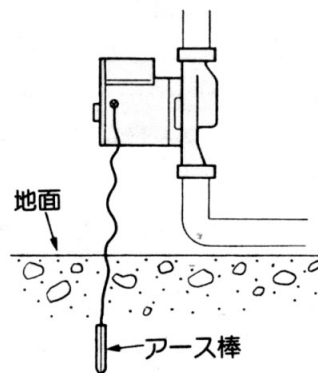
ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切る。また、ぬれた手で抜き差ししない。  
 ●感電やけがをすることがあります。



アース接続

アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。  
 ●故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。



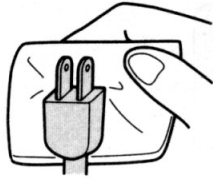
# 警告



清掃

電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく。

- 火災の原因になります。



配線工事

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。

- 誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。

- 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



修理時対応

動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くか、または電源を切ってお買い上げの販売店に必ず点検・修理を依頼する。

- 感電や漏電・ショートなどにより火災の恐れがあります。

# 注意



電源

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切る。

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



禁止

ポンプに毛布や布などの燃えやすいものをかぶせない。

- 過熱して発火することがあります。



禁止

ポンプやモーターに触れない。

- 高温になっていますのでやけどの原因になります。



禁止

空運転(ポンプに水のない状態での運転)はしない。

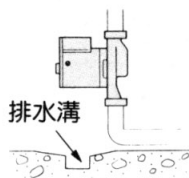
- ポンプ内の水が熱湯になりやけど・故障の原因になります。



防水処理

床面が防水処理・排水処理されているか確認する。

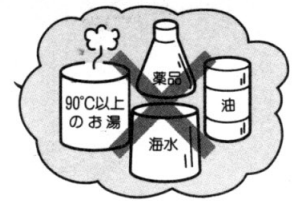
- 水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。



禁止

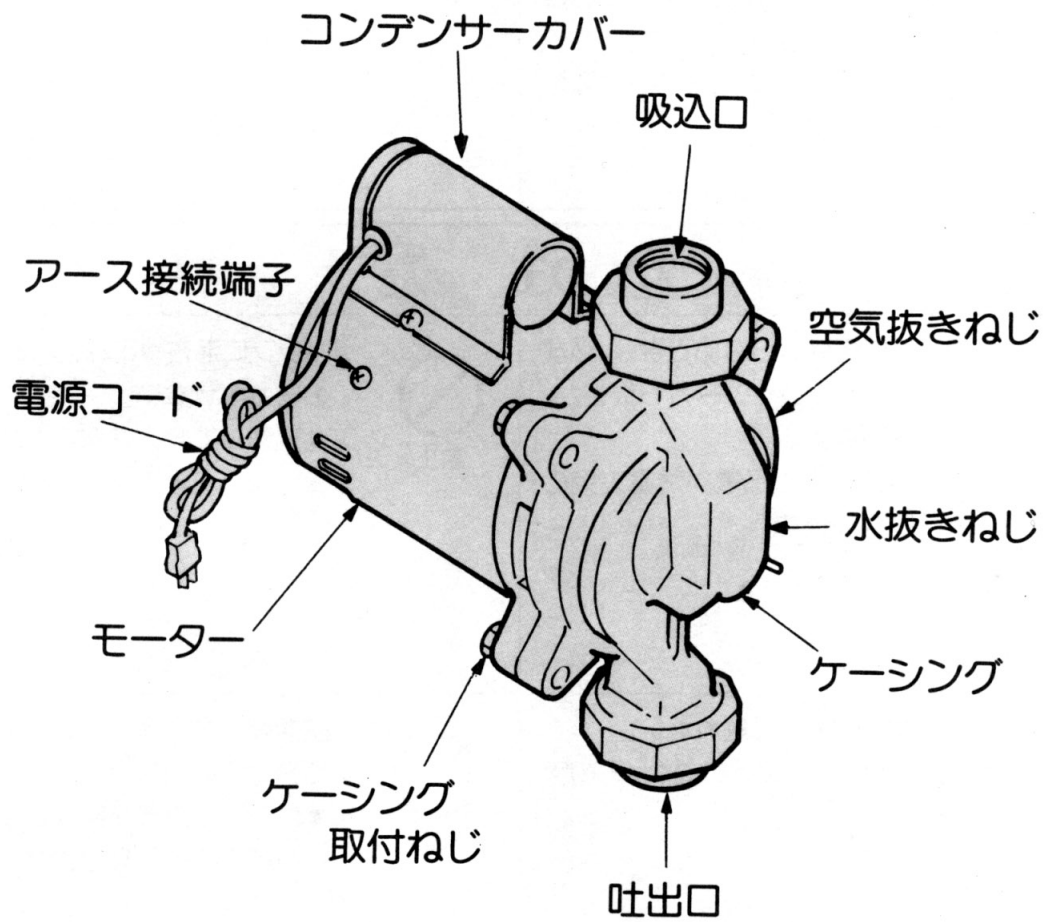
このポンプは水(90°Cまでの温水含む)以外の液体には使用しない。

- 破損により、けがや感電の恐れがあります。

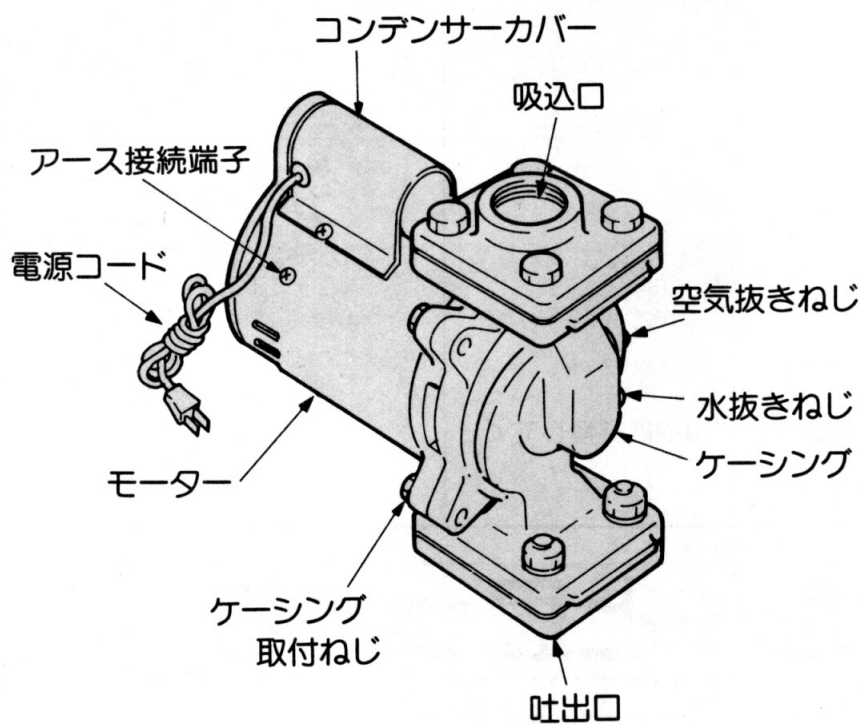


# 各部の名称

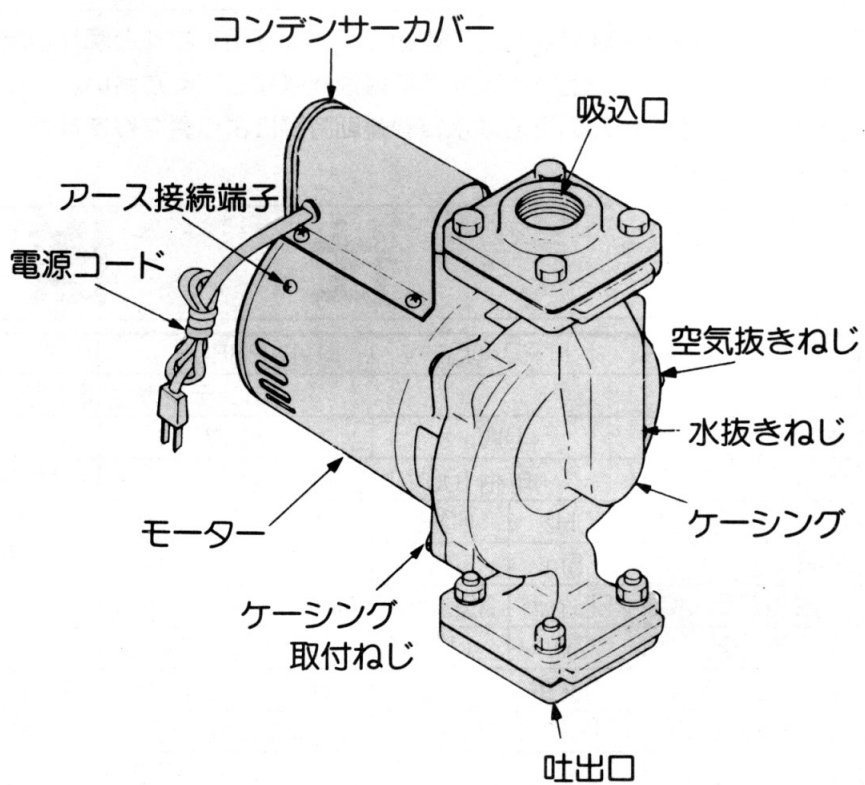
H-PB40S形  
H-PB80S形



# H-P150S形



# H-P250S形



# 使用上のご注意

電源コードはポンプや配管など高温部に触れないようにしてください。

- 電源コードをいためます。



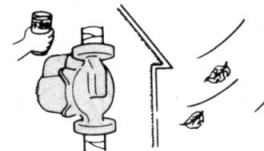
異物の混入した水には使用しないでください。

- 異物はポンプを傷め、寿命を短くします。

循環水は定期的に交換してください。

冬期には必ず凍結防止策を行ってください。

(詳細は11ページ参照)



## 故障かな…と思ったら

症 状	点検するところ
ポンプが回らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。</li> <li>●ブレーカーやヒューズが切れていませんか。</li> <li>●漏電遮断器が動作していませんか。</li> </ul>

- メカニカルシールは消耗部品ですので、長年使用しますと摩耗し水漏れをおこすことがあります。そのときは、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

\*メカニカルシールの寿命は水質や運転時間により異なりますが、清水使用時において累積運転時間は約3,000時間です。

## 仕 様

形 名	H-PB40S		H-PB80S		H-P150S	H-P250S
モ ー タ ー	コンデンサ誘導電動機(2極)					
出 力	40W		80W		150W	250W
電 源	単相100V(50/60Hz共用)				単相100V、50Hzまたは60Hzいずれか専用	
電 源 周 波 数	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50/60Hz	50/60Hz
循環全揚程	2.5m	3m	3m	4m	7m	8m
水量循環水量	25L/min	35L/min	45L/min	50L/min	60L/min	75L/min
消費電力	75W	115W	110W	170W	260W	380W
吸 込 管	1B(ユニオン式)		1B(ユニオン式)		1¼B(フランジ式)	1¼B(フランジ式)
吐 出 管	1B(ユニオン式)		1B(ユニオン式)		1¼B(フランジ式)	1¼B(フランジ式)
配管据付	パイプライン方式					
最高水温	90℃					
製品質量	7.3kg		8.4kg		12.5kg	16kg

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保存してください。

保証期間  
お買い上げの日から1年です。

## 補修用性能部品の保有期間

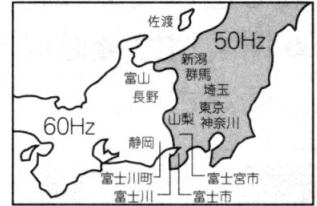
温水循環ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 転居される時

転居にともない電源周波数が変わりますと、所定の性能がえられなかったり、故障の原因になりますので、部品の取替えや調整が必要です。

1. 取り替えが必要な部品
  - ポンプヘッド部 (H-P150S、H-P250Sのみ)
2. 取り替えに伴う費用
  - 技術料・部品代
  - および出張料



沖縄県、佐渡は60Hz

## 修理を依頼される時は

6ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

### ご連絡いただきたい内容

品名	温水循環ポンプ
形名	H-PB40Sなど
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

## 出張修理

### 保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## 愛情点検



## ★長年ご使用の温水循環ポンプの点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 運転するとブレーカーや漏電遮断器が動作する。
- ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。
- コードに“ひび割れ”や“傷”がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れがする。(ポンプヘッド部、継ぎ手など)
- 焦げ臭い“におい”がする。
- 触るとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切ってから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

## 日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は  
TEL 0120-3121-68  
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は  
TEL 0120-3121-11  
FAX 0120-3121-34

## 一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5 (日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55 (日立家電守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18 (博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

# 据付工事について(販売店様・工事店様用)

## 〔工事をされる方へお願い〕

- 製品機能が十分発揮できるように、この「据付工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 据え付け後は必ず試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

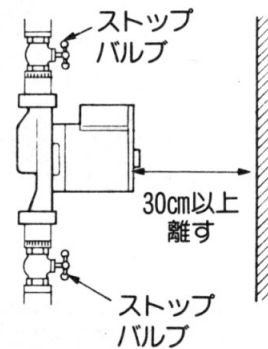
## 据え付け前の確認

### ■ 電源・周波数の確認

- 使用するポンプの電源と合っているか確認してください。——单相100V
- 周波数は、50Hzまたは60Hzいずれか専用ですから確認してください。  
(H-P150S、H-P250Sのみ)

### ■ 据え付け場所の確認

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。



## 据え付け時のご注意

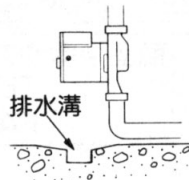
### ⚠ 注意



防水処理

床面が防水処理・排水処理されているか確認する。

- 水漏れがおきた場合、大きな被害につながる恐れがあります。



水のかからぬところ、熱気のないところを選んでください。(風雨や直射日光は避けてください)

- 水滴と高温はモーターの電気絶縁を劣化させ、感電や火災の要因となります。



このポンプは **屋内用** ですので特にご注意ください。

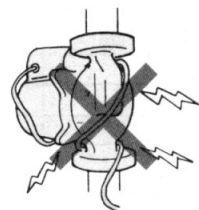
密閉管路はおやめください。

密閉管路中にポンプを取り付けることは避けて、必ず膨脹管または膨脹水逃がし弁を設けてください。また、水道水の圧力が直接ポンプに加わるような配管は避けてください。

- ポンプの故障・破損の原因になります。  
〔ポンプにかかる圧力は、常時100kPa〕  
以下としてください。

電源コードはポンプや配管など、高温部に触れないようにしてください。

- 電源コードを傷めます。





# 配管工事について

温水循環ポンプは配管の種類によって次のような製品があります。

## ■一般配管用

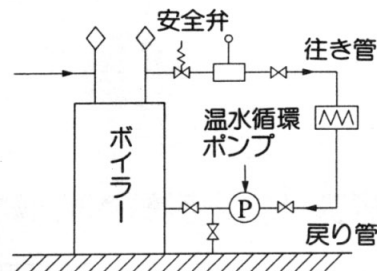
H-P150S形・H-P250S形

## ■銅管配管用

H-PB40S形・H-PB80S形

### お願い

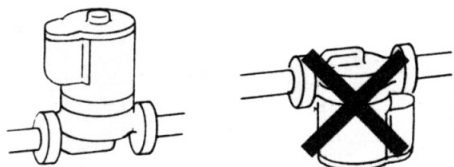
温水循環ポンプを密閉回路中に配管される場合は、必ず戻り管側に取り付けてください。



## 温水循環ポンプの配管工事

### ■ポンプを垂直に取り付ける場合

モーターが必ずポンプの上側になるようにしてください。下側にしますと、メカニカルシールなどに水漏れが生じた場合、モーター内に容易に水が入ってしまい故障の原因になります。

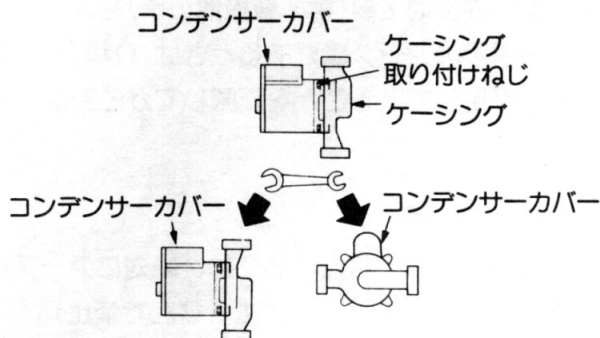


### ■ポンプを水平に取り付ける場合

コンデンサーカバーが必ず上になるように取り付けてください。水が入るのを防ぐためです。

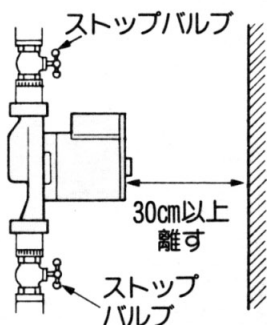
#### コンデンサーカバーが横や下側になる場合

ケーシング取付ねじを外し、ケーシングの向きを変えてコンデンサーカバーが上になるようにしてください。



### ■ストップバルブの設置

ポンプの吸込側と吐出側にそれぞれストップバルブを設けてください。点検・修理の際に便利です。



### ■配管

- 水道管との直結は「水道条例」で禁止されていますので、途中に必ずシスターン（継手）を設けてください。
- 据え付け・配管は、所轄の水道局の規定に従って行ってください。
- 水漏れしないよう、水圧に耐える接続をしてください。
- 空気がたまる部分には空気抜きなどをつけてください。空気があると水の循環が悪くなります。
- 銅管の場合は、配管にポンプの質量がかからないよう、木の台などで支えてください。

### ■膨脹水逃がし弁などの設置

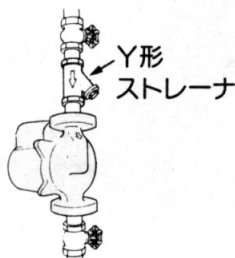
- 暖房および給湯用の循環管路には、必ず膨脹水逃がし弁・または逃がし管と安全弁を設置してください。ポンプに異常な高圧力がかかり破損するのを防ぐためです。（ポンプにかかる圧力は、常時100kPa以下としてください。）

## 配管内の異物除去

配管工事のときの切粉、シールテープくずなど異物を除き、切屑粉をふきとってください。

### ■異物除去のしかた

ポンプの吸込側に市販のY形ストレーナ（Y形フィルター）などを取り付け、循環水をろ過してください。



# 配線工事について

## ⚠ 警告



配線工事

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。

- 誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

## 1 アースと漏電遮断器を取り付けてください。

## ⚠ 警告



アース接続

アースは確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。

- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

万一、漏電したときの感電事故を防ぐため、必ず取り付けてください。(取り付けは有料です) アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事(電気工事士が行います)が必要です。工事の際は、必ず電源を切っておいてください。

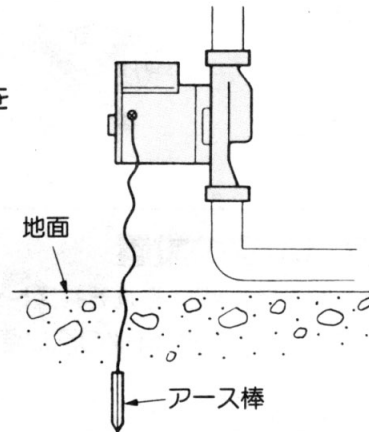
### ● アース線の接続について

- ① D種接地工事(第3種接地工事)をしてください。
- ② 既設のアース線があるときは、D種接地(第3種接地)を満足していることを確認してから接地してください。

### ご注意

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。(法令などで禁止)

- ガス管、電話線、避雷針、水道管(水栓)



### ● 漏電遮断器について

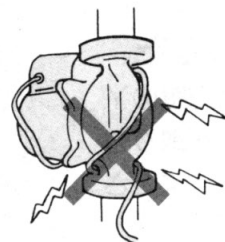
- ① 漏電遮断器は▽ または◇ マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で、電路の定格電流以上のものを電路に取り付けてください。
- ② 既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。

## 2 電源電線の取り付け

専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。やむを得ず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。

- 電源コードは配管やポンプなどの温度の高いところに触れないようにしてください。

※ 電源コードを傷めます。



# 運転について

## 試運転と据え付け後の確認

### ■電源について

100Vのコンセントからとってください。

### ■試運転

ポンプ内に水を満たしてから運転してください。

- 空運転はしないでください。  
ポンプに内蔵のメカニカルシールが焼き付いてしまいます。

### ■確認

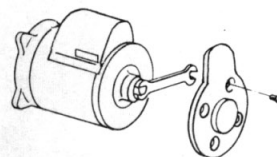
運転後、循環の状態・漏水の有無を確認してください。

- 水がよく循環しないときは、配管内に残った空気が原因ですから、運転を止め再点検してください。

## シーズン始めに再び運転するとき

電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。

シーズンオフなどで長い間、ポンプの運転を休止していますと、メカニカルシールに水あかなどが付着して、再び運転する際にポンプが回らない場合があります。このときには、電源を切り図のようにモーターの軸を2～3回転してください。



# 防寒について

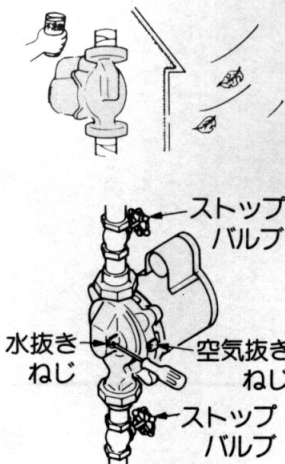
- 寒い地方はもちろんですが、暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがありますので、必ず凍結防止策を行ってください。

冬期など凍結する恐れのあるときは、次のいずれかの処置をしてください。

### ■ポンプを常に運転する。

### ■周囲の温度が0℃以下にならない場所に据え付ける。

### ■長い間運転を止めるときは、ポンプの水抜きを行ってください。ポンプの両側のストップバルブを閉じ、水抜きねじを外してください。



### ⚠ 注意



禁止

ポンプに毛布や布など燃えやすいものをかぶせない。

- 過熱して発火することがあります。

### ■循環水の中に不凍液を添加する。

- 給湯配管の場合は飲用に不適となりますので、添加しないでください。

※凍結による破損事故については責任を負いかねますので凍結防止対策は徹底して行ってください。

**お客様メモ**

後日のために記入しておいでください。  
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話 (      )      -

ご購入年月日

平成

年

月

日

◎ 日立 ホーム&ライフソリューション株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12  
電話 (03) 3502-2111